

令和4年度（2022年度）第2回 南檜山地域・職域連携推進連絡会 開催結果概要

- 1 開催日時 令和4年（2022年）9月14日（水）13時30分～15時00分
 - 2 開催場所 檜山振興局301会議室
 - 3 開催方法 対面及びオンライン（Zoom）
 - 4 開催目的 南檜山圏域における働く世代（～40代）に対する生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）の取組推進を図るため、地域・職域連携における課題を明確化し、課題解決のための連携事業・体制を検討し実施することを目的とする。
 - 5 議題
 - （1）事務局からの説明
 - ・第1回南檜山地域・職域連携推進連絡会で出た地域と職域における課題についてのまとめ
 - ・課題を解決するために実施する事業の「内容」と「今後のスケジュール」について
 - ・次年度以降の連絡会における取り組みについて
 - （2）意見交換（グループワーク）
 - ・パンフレットの方向性・内容について
 - ・健康づくりの相談機関としての連絡窓口・内容について
 - ・配布方法について
- 〈意見内容〉
- ① 媒体の方向性
 - ・働く人は職場で健診を受けているので、未受診なのはその家族である。
→健診を受けられることを知らない。職員自身が被扶養者に伝えていない。女性はライフステージの変化によって受けられる健診の種別が変わってくる。被扶養者から町への問い合わせが多い。
 - ・『働く人と被扶養者のための健診ガイド』にしてはどうか。
 - ・個人事業主等の社保で健診を受けていない方々へのアプローチが大切。
 - ② 掲載内容
 - ・導入の部分では、自分事として、危機感を持つような内容を掲載。受診行動につながるように。細かいデータを示しても目にとまらないと思うので、分かりやすく簡単な内容で掲載すると良いのでは。例）家族にがんの方がいる場合、リスクが上がる など。
 - ・間違った知識を持った人もいる。（拡張期血圧も重要など）正しい知識を載せる。放置すると身体にどう悪影響があるかのフロー図等があると良いのでは。
 - ・QRコードを載せて町のホームページや健診の電子申込みにアクセス出来るようにすると、若い世代が受診しやすくなるのではないか。
 - ・働く世代向けの媒体であれば、特定健診の詳細な情報よりも、職場健診に加えて受けることのできる健診情報をメインに載せてはどうか。
 - ・町のがん検診は社保の方も受診できる。
 - ・被扶養者がどの健診を受けることが出来るのか、フローのような分かりやすい表現があると良いのでは。
 - ・行政表現や専門用語が分かりにくい。特定健診ってそもそも？
 - ・格安で受けられる健診！、がんを早期発見するための健診！など、目を引くようなインパクトのある言葉を使って読んでもらうことが必要。
 - ③ 配付方法
 - ・ただ配るだけではなく、集まる際に説明を加えて配る。